

中学公民	個人の尊重と日本国憲法②	年組番	1問 5点
人権と共生社会		名前	/100

①	国民ひとりひとりが法の下に平等に扱われる権利	
②	アイヌ民族を初めて先住民と明記し、 アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための法律	
③	採用や昇進など、雇用面での男女差別を禁止した法律	
④	男性も女性も対等な立場で活躍できる社会を目指すための法律	
⑤	多様な人々が互いに認められ、活かされている状態	
⑥	階段に手すりを付けるなど、高齢者や障害のある人の 日常生活の妨げとなる障壁をなくしていこうとする考え	
⑦	障害のある人の自立と社会参画の支援のために制定された法律	
⑧	国からの制約や強制がなく、自由に物事を考え、 自由に行動できる権利	
⑨	自分の考えや信仰について、 他人からいっさいの拘束や強制を受けない自由	
⑩	身体を不当に拘束されない自由	
⑪	個人の財産を国家に勝手にうばわれなることなく、 自由に仕事などを選ぶ自由	
⑫	人間らしく生きるための権利	
⑬	健康で文化的な最低限度の生活を営む権利	
⑭	経済的に生活が困難な人に生活費や教育費などを支給する法律	
⑮	すべての子どもが学校で学習するための権利	
⑯	日本の教育の原則について定めた法律	
⑰	すべての日本国民に保障されている、働く権利	
⑱	労働者が、労働条件の維持・改善について交渉するために、 労働組合を結成する権利	
⑲	労働者が、賃金や労働条件などについて、 使用者と対等な立場で交渉する権利	
⑳	労働者が、要求を実現するためにストライキなどを行う権利	